

## 平成 17 年度第 2 回産業衛生技術部会企画委員会議事要旨

企画委員会委員長

田中 茂（十文字学園女子大）

日 時：平成 17 年 6 月 11 日（土） 17 時から 19 時

場 所：東京厚生年金会館ウェルシティ東京

出席者：田中勇武（産業医科大）、加藤隆康（トヨタ自動車）、中明賢二（麻布大）、原邦夫（労研）、山野優子（昭和大）、落合孝則（富士通）、田中茂（十文字学園女子大）、村田克（労研）

欠席者：名古屋俊士（早稲田大）野原誠一郎（化繊協会）今井常彦（東邦大）神山宣彦（東洋大）

議題：

### I. 本部理事会報告

- ・技術部会担当理事：田中勇武、小林（愛知医大）承認
- ・作業環境測定検討委員会報告について  
骨子の報告を行ったが、文章もつけて理事会に報告し、理事会の承認後、理事会名でイエローページに掲載する手順が承認された。
- ・次回産業衛生学会について  
2006 年 5 月 9-13 日、仙台にて開催。部会大会はフォーラムとして開催予定。

### II. 産業衛生技術部会大会の開催

1) 第 1 2 回産業衛生技術部会大会の開催（部会実行委員長：田口豊郁・川崎医療福祉大）

日時：2005 年 10 月 26 日(水) 場所：広島県立広島産業会館・本館 2 階・会議室

プログラム：

【午前】 第 2 回専門産業衛生技術研修会 10:00～12:00

(1) 「障害者雇用の現状と展望」 新井宏(川崎医療福祉大)

(2) 「作業環境改善の工学的対策」 岩崎毅（興研労働衛生コンサルタント事務所）

部会幹事会 12:00～13:00

【午後】 第 12 回産業衛生技術部会大会 13:00～16:30

1) 特別講演 13:00～14:00

「大原孫三郎と倉敷労働科学研究所」 坂本忠次(関西福祉大教授・岡山大学名誉教授)

2) シンポジウム：14:00～16:30

労働安全衛生マネジメントシステムに関わる最近の話題

(1) 「企業の社会的責任と産業衛生技術者の倫理」 伊藤昭好(産業医科大)

(2) 「化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)」 城内博(日本大大学院)

3) ディスカッション

懇親会 (17:00～18:30)

会場アクセス

① J R 広島駅より路面電車で約 20 分、タクシーで 10 分、

②広島バスセンターからタクシーで10分、路線バスあり

2) 第13回産業衛生技術部会大会の開催 仙台（部会実行委員長：板井一好・岩手医大）  
・部会として必須事項である幹事会、総会、部会大会と第3回専門産業衛生技術研修会の会場と開催時間の確保については、田中部会長から産業衛生学会企画委員会へ申し入れる。

3) 第14回産業衛生技術部会大会の開催 新潟（部会実行委員長：谷井秀治・金沢大）

### Ⅲ. 委員会活動

1) 企画委員会（委員長：田中茂・十文字学園女子大）

・次回（今年度第3回）は9月24日予定。日時変更もしくはメール会議となる可能性もある。

2) 教育研修委員会（委員長：原邦夫・労研）

平成16年度第一回研修会（関東産業衛生技術部会と共催）

日時：6月25日（土）14:00～18:00 場所：順天堂大学10号館4階カンファレンス室

メインテーマ：産業衛生技術専門家の考え方・技術・能力とは

講師：中明賢二・麻布大学名誉教授：産業衛生技術者の社会への貢献

伊藤昭好・産業医科大学教授：産業衛生技術者とCSR

・「研修会」と「専門産業衛生技術研修会」とは区別した研修会とする。地方会レベルの研修会等は従来の「研修会」とし、「専門産業衛生技術研修会」と銘打つものは、部会で編集したテキストを用いる研修企画とする。修了証は、要望があれば教育研修委員会から発行する。

3) 広報委員会（委員長：落合孝則・富士通）

・部会ホームページの管理 <http://jsoh-ohc.umin.jp>

・部会員メーリングリストの管理

・部会メールマガジン発刊 <http://jsoh-ohc.umin.jp/magazine/>

・「プライバシーポリシー」を宣言する方向で検討する。

・個人情報保護については本部理事会でも検討しており、その動向を見て部会の対応を決める。

4) 企業安全衛生グループとの交流委員会（委員長：野原誠一郎・化繊協会）

・5月31日全国衛生管理者協議会総会で配付の上説明された。（添付資料）

・8月31日名古屋で開催される愛知衛生管理者協議会に講師派遣の要請（労研原先生、内容：GHS表示）

5) 表彰委員会（委員長：田中勇武・産業医科大）

・次回委員会までに細則に沿って、候補者を選出する。

6) 編集委員会（委員長：神山宣彦・東洋大）

・活動事項が無ければ、今年度限りで委員会を廃止する方向で検討する。

7) 許容濃度活用委員会（委員長：名古屋俊士・早稲田大）

・作業環境測定検討委員会の報告を受けて、残されている課題を検討する。

8) 3部会コラボレーティング委員会（委員長：落合孝則・富士通）

・第3回産業医・産業看護・産業衛生技術部会合同セミナー

場所：サンワテクノス（広島県呉市・火力発電所用ボイラー配管などの加工）

日時：2005年10月13日（木）13:00-20:00、14日（金）9:00-11:00

（13日（木）-15日（土）第15回産業医産業看護全国協議会（広島アステールプラザ）のジョイント企画）

募集人数：40名

幹事：中明賢二、田口豊郁、落合孝則、原邦夫、村田克、大西明宏（神戸医療福祉専）、  
広瀬俊雄、杉村久理、伊藤正人、山村真佐子（松下電器）、河津雄一郎（平和堂）、

・10月15日午前にリレーワークショップも開催する。

9) 資格制度検討委員会（委員長：加藤隆康・トヨタ自動車）

- ・本来は資格制度の内容が定まってから、「研修会」や「専門産業衛生技術研修会」の内容などが決まるはずではあるが、どのような「資格」を創設することが適当であるか検討する。
- ・他団体でも同様の資格制度が進んでいるが、企業が必要とする資格となるように検討する。
- ・「産業衛生技術者」という名称が定着するように検討を進める。

## ◇全国衛生管理者協議会と日本産業衛生学会衛生技術部会が 協力して行う講師派遣について◇

この制度による講師派遣は、日本産業衛生学会衛生技術部会が、直接衛生管理者との情報交流がしたいとの希望に基づいて実現したものです。この制度を利用して講師を依頼した場合には、講師と参加した衛生管理者の間に交流がもてる、何らかの場を設定してください。

### ◇講師派遣におけるメリット

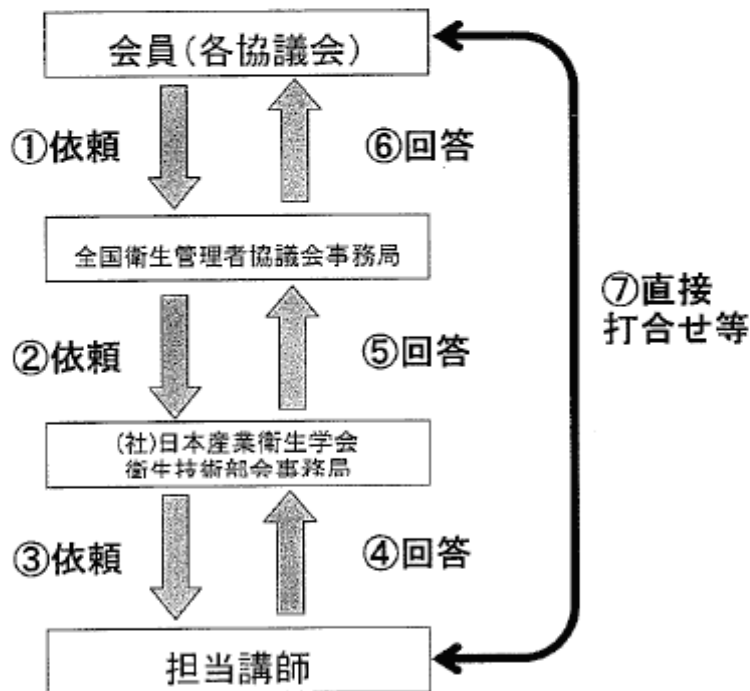
#### 【会 員】

- \* 企画したテーマの実現化が容易(最新のテーマもOK)である。
- \* テーマリストがあることで、主催者側がテーマを自由に選択できる、あるいは企画のヒントにも活かせるなど、活動のマンネリ化防止に繋がる。
- \* この仕組みは講師と受講者の情報交流の場を設定することと、実費分(講師旅費)のみで、多様で質の高いサービスを衛生管理者に提供することができる。

#### 【産衛技術部会】

- \* 部会のメンバーは主に研究者であり、現場の衛生管理者等との情報交流の機会を望んでいる、講師となることにより、衛生管理者等と直接情報交流ができる。
- \* 情報交流や意見交換の結果を、産業衛生技術の研究・技術開発・現場支援に活かせる。

### ◇講師派遣の流れ



#### お申込み、お問い合わせ先

全国衛生管理者協議会 事務局  
 中央労働災害防止協会 技術支援部 技術指導課 担当) 福澤、戸田、林  
 〒108-0014 東京都港区芝5-35-1 e-mail: sidouka@jisha.or.jp  
 TEL: 03-3452-6375 FAX: 03-5445-1774